

**3**  $O$  を原点とする座標平面上で考える. 座標平面上の 2 点  $S(x_1, y_1), T(x_2, y_2)$  に対し, 点  $S$  が点  $T$  から十分離れているとは,

$$|x_1 - x_2| \geq 1 \text{ または } |y_1 - y_2| \geq 1$$

が成り立つことと定義する.

不等式

$$0 \leq x \leq 3, 0 \leq y \leq 3$$

が表す正方形の領域を  $D$  とし, その 2 つの頂点  $A(3, 0), B(3, 3)$  を考える. さらに, 次の条件 (i), (ii) をともに満たす点  $P$  をとる.

(i) 点  $P$  が領域  $D$  の点であり, かつ, 放物線  $y = x^2$  上にある.

(ii) 点  $P$  は, 3 点  $O, A, B$  のいずれからとも十分離れている.

点  $P$  の  $x$  座標を  $a$  とする.

(1)  $a$  のとりうる値の範囲を求めよ.

(2) 次の条件 (iii), (iv) をともに満たす点  $Q$  が存在しうる範囲の面積  $f(a)$  を求めよ.

(iii) 点  $Q$  は領域  $D$  の点である.

(iv) 点  $Q$  は, 4 点  $O, A, B, P$  のいずれからとも十分離れている.

(3)  $a$  は (1) で求めた範囲を動くとする. (2) の  $f(a)$  を最小にする  $a$  の値を求めよ. (22 東大・理科)

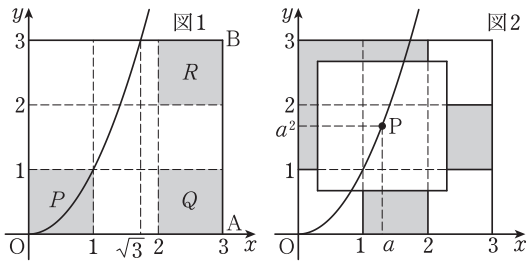
**3** **数学Ⅱ** 【面積】 **標準**

▶ **解答** ◀ (1) 点  $S(x_1, y_1),$  点  $T(x_2, y_2)$

が近いとは

$$|x_1 - x_2| < 1 \text{ かつ } |y_1 - y_2| < 1$$

が成り立つことと定義する.  $D$  内の点のうち,  $O, A, B$  から近い点の集合をそれぞれ  $P, Q, R$  とする.  $P, Q, R$  および  $y = x^2$  を図示すると, 次の図のようになる.



$P$  は,  $y = x^2$  上で, かつ, 領域  $P, Q, R$  のいずれにも含まれていない部分にあるから, その  $x$  座標は,  $1 \leq a \leq \sqrt{3}$  である.

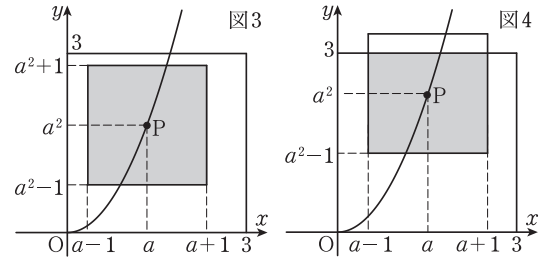
(2) 領域  $X$  の面積を  $[X]$  とかくことにする. このとき,  $P$  に近い点の集合を  $S$  とすると, 求める面積は図 2 の網目部分であり

$$\begin{aligned} f(a) &= [P \cap Q \cap R \cap S] \\ &= [D] - [PUQURUS] \\ &= 9 - [PUQURUS] \end{aligned}$$

ここで

$$\begin{aligned} &[PUQURUS] \\ &= [P] + [Q] + [R] + [S] \\ &\quad - [P \cap S] - [Q \cap S] - [R \cap S] \\ &= 3 + [S] - [P \cap S] - [Q \cap S] - [R \cap S] \end{aligned}$$

まず,  $[S]$  について考える.



•  $a^2 + 1 \leq 3$ , すなわち,  $1 \leq a \leq \sqrt{2}$  のとき

図 3 より  $[S] = 2 \cdot 2 = 4$  である.

•  $a^2 + 1 \geq 3$ , すなわち,  $\sqrt{2} \leq a \leq \sqrt{3}$  のとき

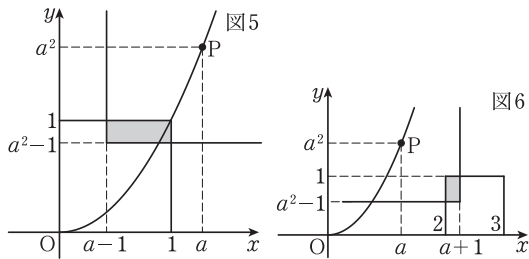
図 4 より  $[S] = 2\{3 - (a^2 - 1)\} = 2(4 - a^2)$  である.

次に,  $[P \cap S]$  について考える.  $a - 1$  と 1 の大小,  $a^2 - 1$  と 1 の大小を考える.  $a - 1 \leq 1$  かつ  $a^2 - 1 \leq 1$ , すなわち,  $1 \leq a \leq \sqrt{2}$  のときは, 図 5 のようになるから,

$$\begin{aligned} [P \cap S] &= \{1 - (a - 1)\}\{1 - (a^2 - 1)\} \\ &= (2 - a)(2 - a^2) \end{aligned}$$

であり,  $\sqrt{2} \leq a \leq \sqrt{3}$  のとき  $[P \cap S] = 0$  となる.

2

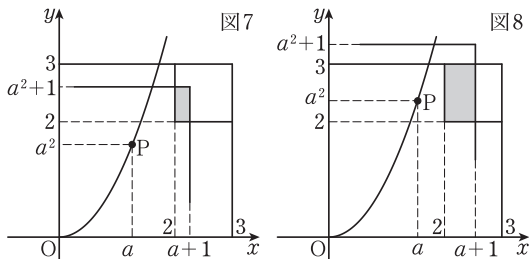


次に、 $[Q \cap S]$ について考える。 $a+1$ と2の大小、 $a^2-1$ と1の大小を考える。 $a+1 \geq 2$ かつ $a^2-1 \leq 1$ 、すなわち、 $1 \leq a \leq \sqrt{2}$ のときは、図6のようになるから、

$$\begin{aligned} [Q \cap S] &= \{(a+1)-2\}\{1-(a^2-1)\} \\ &= (a-1)(2-a^2) \end{aligned}$$

であり、 $\sqrt{2} \leq a \leq \sqrt{3}$ のとき $[Q \cap S]=0$ となる。

最後に、 $[R \cap S]$ について考える。 $a+1$ と2の大小、 $a^2+1$ と2の大小を考える。 $a+1 \geq 2$ かつ $a^2+1 \leq 2$ 、すなわち、 $1 \leq a$ は常に成り立っている。さらに、 $a^2+1$ と3の大小を考える。



•  $a^2+1 \leq 3$ 、すなわち、 $1 \leq a \leq \sqrt{2}$ のとき

図7より

$$\begin{aligned} [R \cap S] &= \{(a+1)-2\}\{(a^2+1)-2\} \\ &= (a-1)(a^2-1) \end{aligned}$$

•  $a^2+1 \geq 3$ 、すなわち、 $\sqrt{2} \leq a \leq \sqrt{3}$ のとき

図8より

$$[R \cap S] = \{(a+1)-2\} \cdot 1 = a-1$$

以上をまとめると

(ア)  $1 \leq a \leq \sqrt{2}$ のとき

$$\begin{aligned} f(a) &= 9 - \{3+4 - (2-a)(2-a^2) \\ &\quad - (a-1)(2-a^2) - (a-1)(a^2-1)\} \\ &= a^3 - 2a^2 - a + 5 \end{aligned}$$

(イ)  $\sqrt{2} \leq a \leq \sqrt{3}$ のとき

$$\begin{aligned} f(a) &= 9 - \{3+2(4-a^2) - 0 - 0 - (a-1)\} \\ &= 2a^2 + a - 3 \end{aligned}$$

(3)  $1 \leq a \leq \sqrt{2}$ のとき

$$f'(a) = 3a^2 - 4a - 1$$

$f'(a) = 0$ を解くと、 $a = \frac{2 \pm \sqrt{7}}{3}$ で

$$\frac{2-\sqrt{7}}{3} < 1 < \sqrt{2} < \frac{2+\sqrt{7}}{3}$$

となるから、 $f'(a)$ は $1 \leq a \leq \sqrt{2}$ で単調減少である。

また、 $\sqrt{2} \leq a \leq \sqrt{3}$ では

$$f'(a) = 4a + 1$$

で単調増加である。よって、 $f(a)$ を最小にする $a$ の値は $\sqrt{2}$ である。

(ホクソム・安田 亨とその仲間たち)